

## 済生会兵庫県病院

# 市民の声置き去りの計画は今すぐ撤回し、 今のまま存続できるように支援を!!

5月17日に神戸市会本会議がひらかれました。日本共産党神戸市会議員団を代表して朝倉えつ子議員が登壇し、済生会兵庫県病院（以下「済生会病院」）と三田市民病院の再編統合による新病院設置に向けた基本的な方針、役割分担を定めようとする連携協約の締結について質疑しました。

### 質疑項目

#### 1. 三田市民病院と済生会病院の再編統合にむけた三田市との連携協約の締結について

(1)市民合意について

(2)土地取得にかかる財政支援について

昨年6月、三田市・神戸市の市長と、済生会病院の3者が共同記者会見で「三田・北神地域の急性期医療確保方策」を発表しました。神戸市はその後開かれた住民説明会では、統合の協議や経緯の説明を全くしないまま「記者発表が、再編統合に向けた『合意』だ」と強弁。さらに「住民説明会やホームページ等で丁寧な説明をおこなってきた」と繰り返してきましたが、住民説明会はたった2回開催されただけで、会場に入

れない方、質問したい方がいる途中で打ち切るなど、とても「丁寧に」「何度も説明した」などと言えるものではありません。「なぜ最寄り駅のない所（宅原）へ移転させるのか」「病院・病床を削減することに不安しかない」という声が多く寄せられています。朝倉議員は、市民の皆さんの声を切り捨てようとしています。朝倉議員は、市民合意が得られないまま、統合移転ありきで進めるような協約は、撤回すべきと質しました。

### 答弁ダイジェスト

**小原副市長：**病床は減ることになるが、統合により若手医師にとって魅力ある病院となれば医師の増加にもつながる。

**朝倉議員：**（昨年6月の3者合意が基となった）「基本協定書」は3月31日に唐突に締結され、議員宛には4月5日にメール配信されただけだ。協定書には候補地案が

「宅原」と記載しているが、地元からは「説明会では『具体的には言えない』と言われた」と聞いた。住民合意など得られない。議会を軽視するやり方だ。

**小原副市長：**候補地は複数案あり協議中だ。

**朝倉議員：**連携協約で定める役割分担では「神戸市が新病院整備の財政支援を行う」と示されている。農地でアク

### 朝倉議員が 議案質疑



セスが不便なため、土地改良や道路整備・拡張工事などが必要となるが、整備費や拡張で生じた補償も神戸市が全て負担するのか。

**小原副市長：**農地が利用できなくなった時の補償は当然すべきものだ。ご指摘の点も踏まえて考えていく必要がある。

**朝倉議員：**用途取得費は、三田市が事業債をもつことになり、国からの交付金対象となるのはその4割。それ以外の6割は神戸市が負担（三田市負担はない）することになる。このような事例はあるのか。連携協約についても住民説明会やパブリックコメントをとるべきだ。

**小原副市長：**他に事例は把握していない。新病院が神戸市域に整備されるのであれば応分の負担をすべきだ。

**朝倉議員：**地域が広くなるのに病床を減らせば医療を受けられない状況が出てくる。加古川では統合で一時医師は増えたが今は減っている。医

療需要がピークを迎えるさなかに統合するのは矛盾している。医師が増えるという確約がない中、市民置き去りで進んでいる。交通アクセスについては三田市が説明するのか。

**小原副市長：**病院の設置者側がまず主体的に対応するのが基本だが、神戸市域に設置されるので市域の方々を対象にした説明会をおこなう形になるだろう。

**朝倉議員：**（神戸市域に設置されるのに）三田市民病院の基本計画になる。本当におかしな話だ。急性期医療を確保するためと言いながら、病床も病院も削減する統合ありきの移転計画は全く道理がない。市民や患者の声は置き去り、北区民・三田市民の声は無視して進めるやり方では住民合意など得られない。今回投入しようとしている財源があるなら、市民の皆さんが望むように、今の病院を今の場所で存続・充実させるために使うべきだ。

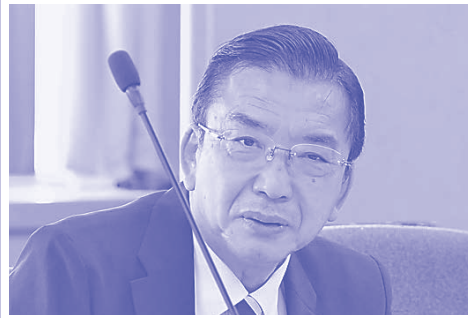
# 2023年度の担当委員会が決まり、 5月18日と19日の常任委員会で質疑をおこないました



## 教育子ども委員会

- いじめ問題
- 公立幼稚園の3年保育
- 学童保育の拡充  
について質疑しました。

松本 のり子議員 (東灘区)



## 都市交通委員会

- 王子公園再開発問題
- 海岸線のホームドアの設置
- 新長田のバイク置き場の増設
- 地域改善住宅など市営住宅の大量の空き部屋解消と入居の促進  
について質疑しました。

森本 真議員 (長田区)

## 経済港湾委員会

- 神戸市における物価高騰対策、インボイス対策
- 神戸空港と過大な需要予測  
について質疑しました。



西 ただす議員 (東灘区)

## 教育子ども委員会

- 学校調理の中学校給食
- 学童保育での昼食提供
- いじめの隠ぺい事案  
について質疑しました。



前田 あきら議員 (須磨区)



## 建設防災委員会(副委員長)

- 王子公園への大学誘致中止
- JR六甲道駅の駐輪場整備
- 灘消防署の建て替え  
について質疑しました。

味口 としゆき議員 (灘区)



## 福祉環境委員会

- 済生会兵庫県病院と三田市民病院の統廃合案
- 新型コロナウイルス感染症5類移行に伴う対応
- 帯状ほうしんワクチン接種助成制度の創設  
について質疑しました。

赤田 かつのり議員 (垂水区)

## 総務財政委員会

- 新卒採用の強化
- チャットGPTの規制
- インボイス制度の実施延期を求める陳情  
について質疑しました。



大かわら 鈴子議員 (兵庫区)

## 都市交通委員会

- 地下鉄駅構内の女性トイレの行列解消
- 学園東町の「にじ色バス」の改善  
について質疑しました。



森田 たき子議員 (西区)

## 特別委員会

議会運営委員会

外郭団体に関する特別委員会

大都市行財政制度に関する特別委員会

未来都市創造に関する特別委員会

味口としゆき議員(理事)  
前田 あきら議員  
大かわら鈴子議員(理事)  
前田 あきら議員  
西 ただす議員(理事)  
森田 たき子議員  
味口としゆき議員(理事)  
赤田かつのり議員



## 福祉環境委員会(委員長)

「一年間委員長として公正公平な議事進行につとめてまいります」

朝倉 えつ子議員 (北区)

## 神戸市会の運営のさらに民主的に進めるための日本共産党神戸市議団の提案

5月1日、日本共産党神戸市会議員団は、改選を機に市民の期待に応え、いっそう市民に身近な議会とするために、下記のように議会改革の提案をおこないました。提案内容は今後、会派代表者会議や議会運営委員会で検討します。

1. 質問時間の総枠を増やし、十分な質問時間を確保すること。
2. 議会役職については特定の会派の持ち回りではなく、会派の人数に応じて公平・平等な配分にする。
3. 委員会で審議未了とされた議案・請願については、本会議の委員長報告で審議経過を明らかにするとともに、本会議で議決できるように会議規則を見直すこと。
4. 土曜、日曜の議会を検討すること。また、その際には託児所を設置すること。
5. 費用弁償は廃止すること。
6. 政務活動費による議員の海外視察を中止すること。
7. 委員会等視察時のグリーン車使用は廃止すること。